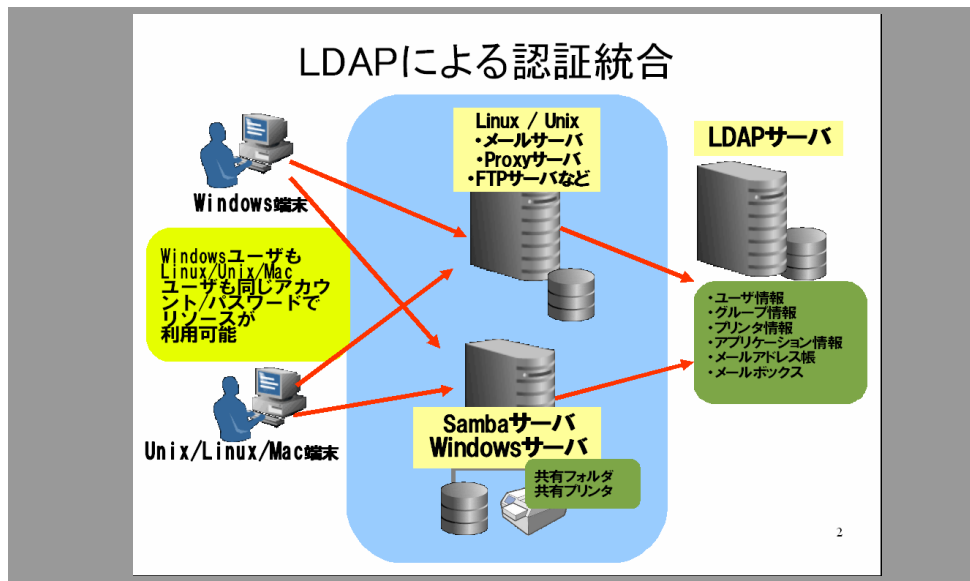


<http://www.ldap.jp>



# 日本LDAPユーザ会

混在OS環境での認証基盤にLDAPを活用しよう！

◇ 日本LDAPユーザ会とは？

- 目的
  - ⇒ LDAPに関する技術情報、製品情報などの交換、LDAPの普及促進活動
- 活動内容
  - ⇒ メーリングリストによる情報交換
  - ⇒ Webによる情報発信
  - ⇒ 技術セミナー開催
  - ⇒ OSSコミュニティなどのイベント参加

<http://www.ldap.jp>

事務局  
〒141-0031  
東京都品川区西五反田2-6-3 東洋ビル  
オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社内  
日本LDAPユーザ会事務局

電話 & FAX : 03-6670-5764  
Email: [staf@ldap.jp](mailto:staf@ldap.jp)

## 日本LDAPユーザ会が2007/4/1に正式発足

- 目的
  - LDAPに関する情報交換
    - 技術情報、イベント情報、人的交流
  - LDAPの普及促進
- 具体的な活動内容
  - Webによる情報発信
    - <http://www.ldap.jp/>
  - メーリングリストによる情報交換
  - 技術セミナー、OSC、LWCのようなイベントに参加
    - ついでに懇親会(人的交流もはかる)

## 日本LDAPユーザ会 運営スタッフ

- 小田切 耕司(オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社)
- 小野寺 尚文
- 樽石 将人(レッドハット株式会社)
- 稲地 稔(NECソフトウェア北海道)：北海道近辺担当
- 中満 英生
- 関口 薫
- 太田 俊哉(日本電気株式会社)
- 濱野 賢一朗(リナックスアカデミー)
- 武田 保真(オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社)
- 佐藤 文優(オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社)
- 竹内 英雄(オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社)
- 宗近 龍一郎(株式会社ミュートス)：大阪近辺担当
- 陶山 育子
- 竹澤 亮

## 現在のシステム認証基盤の問題点

- 個人情報保護法や内部統制など企業システムのセキュリティを見直したり、強化する動き
- セキュリティの基本はアクセス制御
  - 誰がどんなリソースをアクセスできるのか、定義し制御する。
- アクセス制御をちゃんとするにはユーザ認証が基本
- Windows Active Directoryを使って認証しているユーザは多いがユーザ数に比例してライセンス料が必要
- ユーザ認証の重要性は誰もが気付いているが、それを見直す際に他のLDAP製品を検討比較しようという意識はまだ低い
- 情報不足とエンジニア不足、コスト予測できないなど不安要素がいっぱい

## システム認証基盤構築のメリット

- ユーザが利用している認証が必要なシステム例  
ほとんどのシステムはユーザ名とパスワードによる認証
  - メールサーバ
  - ファイルサーバ
  - Webサーバ
  - Web Proxy
  - FTPサーバ
  - SSH
  - TELNET
  - SCP
  - 業務システム
- これらのパスワードがすべて違うと不便！  
しかし、すべて同じで変更も1度ですべて同期して行われたらとっても便利！
- 認証基盤を統合すればそれが可能になる！

## LDAPを使った認証基盤構築メリット

- 標準プロトコルLDAPだからその親和性  
OSSのSambaとOpenLDAPを使うとUnix/ Linux/ Windows/ Mac Osの統合認証が可能になる。
- OSSを使うとクライアントに比例するCAL(クライアントアクセスライセンス)を不要にすることで、コストを大幅に削減することができる。
- 運用コストは商用製品の方が低いかもしれない。
- 導入コストだけでなく、運用コストの削減  
ユーザ管理の一元化と分散管理
- 内部統制とセキュリティの強化

## LDAPを活用したシステム認証基盤構築例

- Active Directoryの代わりとしてのOSS認証基盤  
OSSのSambaとOpenLDAPを使い、既存のWindowsドメインを移行したり、Active Directoryの代わりにOSSシステム認証基盤を導入。
- 既存のNISやNIS+からLDAPへの移行  
OSSのSambaとOpenLDAPを使い、Windowsクライアントの認証だけでなく、Unix, Linux, Macの認証統合を行う。
- Active DirectoryによるUnix, Linux, Macの認証統合  
OSSのSambaを使い、Unix, Linux, Macクライアントおよびサービス(メール、Web、FTPなど)の認証をWindows Active Directoryを使って行う。